

要 約

エチルフェニルアミンの48時間急性遊泳阻害試験をオオミジンコ(*Daphnia magna*)を用いて実施した。

試験は、1試験区20頭を用い、5濃度区[設定濃度：30.0、9.49、3.00、0.949、及び0.300 mg/L(公比 $\sqrt{10}$)]及び対照区、水温 $20\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、試験液を交換しない止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定値に対して99.3～102%、終了時では75.0～78.1%であり、設定濃度の $\pm 20\%$ を超えたため、以下の試験結果の算出には測定濃度の時間加重平均値を用いた。

24時間EC50(半数遊泳阻害濃度)は6.83 mg/L、48時間EC50は4.34 mg/Lであった。

48時間における100%遊泳阻害最低濃度は26.5 mg/Lであった。また、0%遊泳阻害最高濃度は0.264 mg/L、NOEC(最大無影響濃度)は <0.264 mg/Lであったが、この濃度において観察された軽度の症状を示す個体が1頭であったため、NOECは0.264 mg/L付近と推察された。